

(様式第1号)

令和〇年6月15日

長崎県グリーン・ツーリズム推進協議会
会長 ○○ ○○ 様

記載例2)
既存の体験を拡充、強化するにあたり、
必要な経費に対して助成金を活用する
場合

所在地 長崎市尾上町3番1号
応募者 名称 長崎農泊推進協議会
代表者 会長 長崎 太郎
(個人にあつては、住所・氏名)

企画事業応募申請書

企画事業を実施したいので、グリーン・ツーリズム実践者による企画事業実施要領2の(5)に基づき、次の関係書類を添えて応募します。

〔関係書類〕

- 1 企画事業計画書(様式第2号)
- 2 企画事業収支予算書(様式第3号)

企画事業計画書

企画事業名	旬のフルーツを使ったデザートピザ作り体験	
実施組織名	長崎農泊推進協議会	採択前の事業開始はできませんので、採択時期を考慮した事業期間を記入してください。
実施時期	採択日～通年	
内 容	1. 企画の目的・ねらい 当協議会で、最も人気のあるフルーツ収穫については、屋外での体験であるため、雨天時の振替体験が課題となっている。 この振替体験とするため、現在、屋外で実施しているピザ作り体験について、屋根を作成する。また、フルーツ収穫体験で収穫予定であったフルーツを使ったピザも作成し、デザートメニューとすることで、食事時以外にも対応できるようにし、さらなる集客を図る。	
	2. 企画の内容 屋根付の体験場所を確保し、通常のピザに加え、季節のフルーツを使ったデザートピザ作りのメニューを追加する。 また、…	
	3. 対象範囲 家族連れ、グループなど。 雨天時の振替対応だけでなく、通常のメニューとして随時受付。	
	4. 実施時期及び方法 採択後 ・フルーツピザの試作 ・備品のリニューアル (古くなった既存備品の買い替え、受入拡大に対応した個数増) ・屋根材料費の購入 ・屋根の取付工事発注 9月頃～ ・体験受入開始	
期待できる効果	雨天時の振替体験を作ることで、これまでキャンセルとなっていた方の集客を図ることができる。新たに女性客の集客を…	
連絡先	担当者氏名：長崎 太郎 メールアドレス：nagasakiouhaku@pref.nagasaki.lg.jp 連絡先の電話：095-895-1915	

企画事業 収支予算書

企画事業名	旬のフルーツを使ったデザートピザ作り体験
<p><例2>既存の体験を拡充、強化するにあたり、必要な経費に対して助成金を活用する場合 (体験料を徴収するため、基本的には、体験料の中で支出するものは助成の対象外となるイメージです)</p> <p>※事業の全体増がわかるよう、(参考)として、予定している体験料・支出などを記入してください</p>	

収入の部 (金額単位: 円)

経費区分	予算額	積算内訳
企画事業助成金	200,000	(参考) 体験料 ・ 体験料@1,500円
自己資金	100,000	
計	300,000	

支出の部 (金額単位: 円)

経費区分	予算額	積算内訳	
屋根材料費	150,000	<p>収入と支出は同額となります</p> <p>(参考) 体験料で支出する経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 材料費 (食材) ・ 紙皿などの消耗品費 	
取付工事費	80,000		
備品リニューアル			
・ ピザプレート、カッター等	20,000		4セット (グループに1つ)
・ エプロン、スカーフ等	50,000		5,000円×10セット
計	300,000		

金額は概算で構いませんが、インターネットで料金表を確認するなどして、見込んでおく必要があります。

(様式第4号)

令和〇年3月1日

事業期間(2月末まで)に関わらず、事業が終了し、経費の支出が終わっている場合は、早めに提出をお願いします。
事業終了後、1ヶ月以内の日付となります。

長崎県グリーン・ツーリズム推進協議会
会長 ○○ ○○ 様

所在地 長崎市尾上町3番1号
応募者 名称 長崎農泊推進協議会
代表者 会長 長崎 太郎
(個人にあっては、住所・氏名)

企画事業実績報告書

令和〇年度において採択された企画事業について、グリーン・ツーリズム実践者による企画事業実施要領2の(9)に基づき、その実績を次の関係書類を添えて報告します。

〔添付書類〕

- 1 企画事業実績書(様式第5号)
- 2 企画事業収支精算書(様式第6号)
- 3 その他関係資料

<input type="checkbox"/>	経費のわかる領収書(写し可)	※必須
<input type="checkbox"/>	写真 ・助成の主な対象経費が備品購入の場合、その備品の写真 ・体験時の写真 など	※必須
	成果物 ・モニターツアー開催終了後の報告書まとめ ・新たな体験メニューをPRしたチラシやHP ・作成した体験マニュアル など	作成がある場合

該当に「○」を記入してください。

企画事業実績書

企画事業名	旬のフルーツを使ったデザートピザ作り体験
実施組織名	長崎農泊推進協議会
実施時期	令和〇年9月1日～令和〇年2月28日 ※体験は継続
参加者数	50名
内 容	<p>1. 企画の目的・ねらい</p> <p>当協議会で、最も人気のあるフルーツ収穫については、屋外での体験であるため、雨天時の振替体験が課題となっている。</p> <p>この振替体験とするため、現在、屋外で実施しているピザ作り体験について、屋根を作成する。また、フルーツ収穫体験で収穫予定であったフルーツを使ったピザも作成し、デザートメニューとすることで、食事時以外にも対応できるようにし、さらなる集客を図る。</p> <p>2. 企画の内容</p> <p>屋根付の体験場所を確保し、通常のピザに加え、季節のフルーツを使ったデザートピザ作りのメニューを追加する。</p> <p>また、…</p> <p>3. 対象範囲</p> <p>家族連れ、グループなど。</p> <p>雨天時の振替対応だけでなく、通常のメニューとして随時受付。</p> <p>4. 実施時期及び方法</p> <p>9月1日～</p> <ul style="list-style-type: none">・フルーツピザの試作・備品のリニューアル・屋根材料費の購入 <p>10月1日～10日</p> <ul style="list-style-type: none">・屋根の取付工事 <p>10月15日～体験受入開始</p> <ul style="list-style-type: none">・11月2日 10名（長崎市内）・12月20日 10名（佐世保市内）・2月10日 30名（海外教育旅行）
成 果	フルーツは3種類で実施できたが、味は〇〇が好評であった。参加者の声としては…
連絡先	担当者氏名：長崎 太郎 メールアドレス：nagasakiouhaku@pref.nagasaki.lg.jp 連絡先の電話：095-895-1915

企画事業 収支精算書

企画事業名	旬のフルーツを使ったデザートピザ作り体験
実施組織名	長崎農泊推進協議会

収入の部

(金額単位：円)

経費区分	精算額 (A)	予算額 (B)	比較増減 (A-B)	精算額経費内訳
企画事業助成金	200,000	200,000	0	
自己資金	139,800	100,000	39,800	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
計	339,800	300,000	39,800	

支出の部

(金額単位：円)

経費区分	精算額 (A)	予算額 (B)	比較増減 (A-B)	精算額経費内訳
屋根材料費	120,000	150,000	-30,000	
取付工事費	150,000	80,000	70,000	
備品リニューアル			0	
・ピザプレート、カッター等	19,800	20,000	-200	4セット (グループに1つ)
・エプロン、スカーフ等	50,000	50,000	0	5,000円×10セット
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
計	339,800	300,000	39,800	



申請時に
提出した
収支予算書
と同じ



実績を記入

企画事業助成金 交付請求書

企画事業については、概算払も可能です。
必要な場合は、事前に事務局へお知らせください。

金 200,000 円

令和〇年度において採択された企画事業について、助成金を上記のとおり交付されるよう、グリーン・ツーリズム実践者による企画事業実施要領2の(10)に基づき、請求します。

令和〇年3月1日

長崎県グリーン・ツーリズム推進協議会
会長 ○○ ○○ 様

所在地 長崎市尾上町3番1号
請求者 名称 長崎農泊推進協議会
代表者 会長 長崎 太郎
(個人にあつては、住所・氏名)

(振込先)

1 金融機関名	長崎○○ 銀行 ○○ 支店 () 出張所
2 預金種別	当座・普通
3 口座番号	1 2 3 4 5 6 7
4 口座名義人 (フリガナ) (漢 字)	ナガサキノウハクスイシンキョウギカイ 長崎農泊推進協議会

発行責任者 : ○○○○○ 連絡先
担当者 : ○○○○○ 連絡先

令和〇年4月10日

長崎県グリーン・ツーリズム推進協議会
会長 〇〇 〇〇 様

所在地 長崎市尾上町3番1号
応募者 名称 長崎農泊推進協議会
代表者 会長 長崎 太郎
(個人にあつては、住所・氏名)

企画事業交付決定前着手届

グリーン・ツーリズム実践者による企画事業実施要領に基づき応募した企画事業について、交付決定を受ける前に事業に着手したいので届け出ます。

なお、交付決定を受けるまでの期間内に、天災地変を含むあらゆる事由によって事業に損失を生じた場合であっても、当該損失は事業実施主体が負担します。

また、交付決定がなされなかった場合であっても、異議は申し立てません。

記

交付決定前着手が必要な理由を具体的に記載してください。

1 事前着手の理由

5月に開催する〇〇〇について、体験プログラムに使用する用具や印刷製本などの準備を始める必要があるため

2 着手(予定)年月日

令和〇年4月10日